

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年07月07日

計画の名称	青森県の安全で快適な暮らしを支える港湾づくり（防災・安全）（海岸重点）												
計画の期間	平成31年度～令和03年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	青森県												
計画の目標	巨大台風及び大規模地震等による災害に備え、海岸保全施設の事前防災・減災対策や老朽化対策等を総合的に実施し、県民の安全・安心を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	350	A	350	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R3末)
1	老朽化対策が必要な施設に対し、対策を実施した割合の向上：21施設（一定区間） 老朽化対策の実施率 (老朽化対策完了施設数（一定区間）) ÷ (老朽化対策が必要な施設数（一定区間）：21) = (老朽化対策率)	0%	5%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
青森県国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A全て														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
海岸事業	A09-001	海岸	一般	青森県	直接	青森県	老朽化	港湾	尾駈・鷹架地区の傾斜護岸の老朽化対策(2-A2-7)	傾斜護岸の補修 N=1施設	むつ小川原港海岸・尾駈・鷹架地区						103		策定済
	A09-002	海岸	一般	青森県	直接	青森県	老朽化	港湾	大間C地区の護岸等の老朽化対策(2-A2-8)	護岸の補修 N=2施設、陸間の補修 N=6施設	大間港海岸・大間C地区						42		策定済
	A09-003	海岸	一般	青森県	直接	青森県	老朽化	港湾	川内B地区の堤防等の老朽化対策(2-A2-9)	堤防の補修 N=2施設、突堤の補修 N=3施設、陸間の補修 N=1施設	川内港海岸・川内B地区						143		策定済
	A09-004	海岸	一般	青森県	直接	青森県	老朽化	港湾	原別地区の陸間の老朽化対策(2-A2-10)	陸間の改修 N=2施設	青森港海岸・原別地区						1		策定済
	A09-005	海岸	一般	青森県	直接	青森県	老朽化	港湾	野内地区の陸間の老朽化対策(2-A2-11)	陸間の改修 N=2施設	青森港海岸・野内地区						29		策定済
	A09-006	海岸	一般	青森県	直接	青森県	老朽化	港湾	川内A地区の護岸の老朽化対策(2-A2-13)	護岸の補修 N=2施設	川内港海岸・川内A地区						32		策定済

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 県港湾空港課で実施	事後評価の実施時期 令和5年度
	公表の方法 県のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化対策が必要な施設の対策事業を着実に進捗し、海岸保全施設の事前防災・減災対策を実施することで県民の安全・安心を確保することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%